

授業科目名	JavaScript			年 次	2年										
				学 科	IT ビジネス科										
担当教員名	松岡 慎吾			開講年度・学期	2025 年度 ・ 通年										
授業の方法	実習	週時限数	1	年間授業時数	38 時間	科目区分									
実務経験の有無	有	実務経験	国内小売業グループにおいて ICT 推進業務及びシステム開発業務に従事。												
授業の概要 (実務経験を活かした教育内容)	本科目では、ウェブブラウザ上で動作するプログラミング言語「JavaScript」について学習する。クライアントサイドで実行される JavaScript の特徴を理解し、ユーザ操作に応じて動的に変化するインターラクティブなウェブページの実装技術を習得する。また、代表的な JavaScript ライブラリやフレームワークについても触れ、現代のフロントエンド開発の全体像を把握する。														
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブアプリケーションにおけるサーバサイドとクライアントサイドの違いを理解し、説明できる。 2. JavaScript の基本文法を理解し、基本的なプログラムを作成できる。 3. DOM 操作を通じて、HTML/CSS と連携したインターラクティブなウェブページを実装できる。 														
授業計画	月	内容													
	4	• JavaScript の特徴、環境構築													
	5	• 変数宣言と代入、基本的な演算子、条件分岐、繰り返し処理													
	6	• 配列、オブジェクト、関数													
	7	• DOM (Document Object Model) 基礎、DOM 操作													
	8	—													
	9	• jQuery • 前期末試験実施													
	10	• Ajax、SPA (Single Page Application)													
	11	• モダン JavaScript 概説、環境構築													
	12	• React の基本													
	1	• React コンポーネントとバックエンドの API 連携 • 卒業試験実施													
	2	—													
	3	—													
成績評価の方法	前期(9月)と後期(1月)の定期試験および受講状況を以って評価する。 成績評価基準: 優(100~90)・良(89~70)・可(69~40)・不可(39~0)														
準備学習・事後学習等	Web 基礎の授業内容を振り返り、HTML および CSS について復習すること。														
テキスト	なし														
参考書・参考資料等	なし														
その他 (学生に対する要望、メッセージ)	私たちが日常的に使用するウェブサービスは、JavaScript によって快適な操作性と豊かな表現を実現しています。そして今、JavaScript はウェブブラウザの中だけにとどまらず、TypeScript による堅牢な開発や、Node.js によるサーバサイド開発まで、活躍の場を大きく広げています。ウェブページに「動き」と「対話性」を与える JavaScript の可能性を探求しましょう。														